



国際シンポジウム 初期禅宗史研究の最前線

日時 5月25日(土)・26日(日)

会場 東洋大学白山キャンパス

開場時間 10:00～〔両日〕

共催 国際禅研究プロジェクト・東洋大学東洋学研究所

5月25日(土)

10:20～10:30

開会の辞 Opening remarks

10:30～11:40

Bernard FAURE

(ベルナール・フォール, 佛雷, Columbia University)

in English

“Early Chan and ‘Nonduality’:
The Cultural Impact of Chan Antinomianism”

13:00～14:10

程正

(CHENG Zheng, 駒澤大学, Komazawa University)

in Japanese

「惟心観一卷」(S212)について

14:20～15:30

黄青萍

(HUANG Chjngping, 銘傳大学, Ming Chuan University)

in Chinese

《頓悟真宗論》の禪法特質—禪宗與攝論思想的交融

15:40～16:50

中島志郎

(NAKAJIMA Shiro, 花園大学, Hanazono University)

in Japanese

東山法門の禪定論—随自意三昧から一行三昧へ

17:00～18:10

龚隽

(GONG Jun, 中山大学, Sun Yat-sen University)

in Chinese

初期禅宗思想史中的《维摩经》



5月26日(日)

10:30～11:40

大竹晋

(OOTAKE Susumu, 仏典翻訳家)

in Japanese

禪定による業障消去をめぐる

13:00～14:10

林佩瑩

(LIN Peiying, 輔仁大学, Fu Jen Catholic University)

in Chinese

《禪祕要法經》(T.613) 與《治禪病祕要法》(T.620)
中的禪病—論早期漢地禪修傳統的觀想法門

14:20～15:30

Wendi ADAMEK

(ウェンディ・アダメック, 韋聞笛, University of Calgary)

in English

“Comparing Rhetorical Uses of Yogācāra and Pramāṇa
Terminology in the *Ding shifei lun* 定是非論 and the *Lidai fabao ji* 歷代法寶記”

15:40～16:50

伊吹敦

(IBUKI Atsushi, 東洋大学, Toyo University)

in Japanese

七世紀後半における中国北地の思想動向—
『金剛三昧經』に見る初期禅宗と三階教の接合とその意味

17:00～17:10

閉会の辞 Closing remarks

※ 英語・中国語の発表については、発表資料の日本語訳を配布し、また、質疑に当たっては、通訳担当者を配置する予定です。

(本シンポジウムの開催に当っては、科研費助成金(研究課題「海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究」[17H00904])、並びに東洋大学井上円了記念助成金(研究課題「東アジアにおける仏教思想の成立と展開、並びにその意義の解明」)の助成を受けました。



東洋大学

お問い合わせ

東洋大学東洋学研究所 国際禅研究プロジェクト
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL 03-3945-7401

E-MAIL kokusaizenkenkyuproject@gmail.com